

## 平成23年度まちづくりミーティング in 蚕桑

期日：11月19日（土） 午後7時～午後8時40分

場所：蚕桑地区公民館 参加者 21名

**Q. 中学校統合後の名前を決定する場合、「東・西」などでは学校に対する愛着が薄いように感じるので慎重に検討してほしい。**

教育長：これから地域の方、保護者などの関係者で構成する準備委員会（仮称）で検討していきますので、よりふさわしい名前で町民の皆さんに提案したいと考えています。

**Q. 統合中学校の場所が東中に決定した経過を教えてください。**

教育長：建設年度は西中が昭和42～43年、東中が昭和47～49年、大規模改造は西中が昭和63年、東中が平成15年と施設が新しく、敷地、校舎面積、教室数も東中が充実しています。それらを踏まえ、今後の耐震化などへ向けても東中の方が望ましいということになりました。

**Q. 西中はなくなるということで決定なのか？**

町長：教育委員会の決定の段階であり、最終決定はこれから行っていきます。子どもたちの教育環境などから考えても教育委員会の決定を尊重し、なるべく早い段階で決定して参ります。町民皆さんから100%の納得は得られないと思いますが、今後も丁寧な説明をして参ります。

**Q. 荒砥橋の架け替えにより東西の交通網が整備され町は一つに…という発想は分かるが、蚕桑地区民からすると保育園や農協がなくなり、将来的に小学校も鮎貝に統合となるのではないか、公共施設が地域からなくなってしまうという不安でいっぱいだ。中学校は川西地区にあっても良いのではないか。**

町長：学校統合は全国的な問題になっています。原因は過疎化や人口減少であり、町は人口減少を抑えるため、子育て支援や教育に力を入れています。頑張っているが、人口減少は簡単に解決できず難しい問題です。公共施設の有無ということだけでなく、自分たちの地域をどのようにして守り活気づけるかということ（地域づくり）を地域でも考えていただきたいと思います。

**Q. 6次産業化については、行政で取り組む部分と生産者側で取り組む部分があると思っている。生産・加工・販売という一連のサイクルを確立していくことが重要であるし、食品加工工場の誘致も考えていかないと農業の発展にはつながらないと思うがいかがか。**

町長：大変大事な視点であります。最近の例では、中山小の小規模特養老人ホームの運営を行う聡明会の理事に中山区長が入っていますが、それは、地元の農産物を消費してもらおうという考えからであります。

また、食品会社への誘致活動も行っていますが、交通網の問題（貨物・高速道路）から実現していません。そういったことから考えると、交通網をはじめとする環境の整備や、より魅力的な産物が必要なのだと思っています。

**Q. 荒砥橋の架け替えは東西を結ぶという考えだけのものか？**

町長：荒砥橋は東西をつなぐだけでなく、経済面で重要な橋となっています。今後は長井市・飯豊町とも協力しながら西側幹線道路（高規格道路に準じた道路として）の実現へ向けたステップとなりますし、さらには、日本海と太平洋を結ぶ重要な道路につながっていくものと期待しています。長い時間は必要になると思いますが、期成同盟会などの立ち上げに際しては皆さんの協力を得ながら進めて参ります。

**Q. 地域づくりに対する町職員の関わり方について**

町では、地域づくりに対する補助や制度なども進んでいるが実際に運用するのは人。そういったことから、町職員も積極的に地元に出し、地域の実情などを実際に感じることも重要と考えるがいかがか。

町長：若い職員は実践と言う意味では除雪作業などに積極的に取り組んでいる

ようですし、地区民としてイベントなどに参加している職員も多いようだ。地域に対する関わりとしては、職員がお手伝いできる場面（ステージ）などを地域で作っていただければがんばってやってくれるものと思っています。

他の市町村では、地区担当制ということで、地域に職員を張り付けているところもありますが、なかなかうまくいっていないようです。自ら地域に入っていくようでないとはダメですし、地域で受け入れてくれる環境も必要だと思っています。

**Q. 企業誘致が決まったということだが、募集人数など具体的に分かっていることを教えていただきたい。**

副町長：ニッセイエコという企業と10月31日に契約を交わし、鮎貝土地区画整理地内に決定しましたが、白鷹工場の細部についてはこれから決まっていくものと思います。今のところお知らせできるものはないのですが、来年1年ほどかけてどのような製品を作っていくか決めると聞いています。

※ニッセイエコ…神奈川県藤沢市（国内では栃木県那須に工場があり、その他海外にも工場を設けている）。医療チューブなどプラスチック加工の会社

**Q. 現在庄内町に住んでいて、外から見た白鷹町は、情報発信が下手（情報量が少ない）。最近「あゆ一む」が出来たことによりさまざまなイベント情報が流れるようになった。他に誇れるものを集中的に広報するなどして、住民の意識を変えなければならないと思う。**

町長：「あゆ一む」は、今年から指定管理者になりました。管理者のがんばりにより著名人を呼んだり、さまざまな企画が展開されています。行政ではそこまでの人脈もないし不可能だったと思います。そういった意味で指定管理者の導入は大変良かったと思っています。

町が誇れるものはたくさんありますが、やはりアピール不足であります。べにばなやべにもち、鮎茶屋（ヤナ場）、生乳量などを上手にアピールするように取り組んで参ります。

**Q. 庄内町には各集落に防災無線があり、災害時の対応がきちっとしているが、町はどのように考えるか。**

町長：町内全域（全集落）に整備するには数億というお金がかかります。地区

単位での実施も可能ですが、今後防災計画の見直しをしながら検討して参ります。

**Q. 荒砥高校の存続について、54名を確保しなければならないということだが、  
とっておきの作戦などはあるのか。**

教育長：荒砥高校の先生が置賜管内の中学校を回り、荒砥高校の良さなどを伝えていきます。

「荒砥高校をサポートする会」でも同様にフラワー長井線沿線の学校を回っているところです。また、来年度以降ホームヘルパー2級が取得可能になる予定ですから、そういったプラスの面を幅広く周知していくつもりであります。

**Q. エネルギーの確保が叫ばれるが、ため池などの農業用水を活用できないものか。**

副町長：新エネルギー事業については、国・県でも検討を進めているところがあります。町でも県と調整しながら計画策定に取り組んでいく予定であります。

#### 意見・要望

・来年、山口地内の水頭沼が整備されるが、エネルギーのモデル事業にならないか。

##### ■副町長

水頭沼ため池整備は県の事業になっていきますので、県との調整が必要になってきます。

・山口地区内の道路整備や地域づくりにご協力いただき感謝申し上げます。西県道の道路整備などについても今後ご検討いただきたい。

##### ■町長

山口地区には自主防災組織を早くから設置いただくなど地域づくりには感心させられている。他の地区の要望なども踏まえて優先順位を決めて検討させていただきます。